



972号
2024年1月16日
郵政産業労働者ユニオン
呉支部発行



←中国地本HPへ
PC・スマホ等から
この情報が閲覧可！



メールはこちら→

春闘の方針を示す

スローガン

- ・大幅賃上げ 大幅増員を勝ちとろう！
- ・真の格差是正を勝ちとろう！
- ・組織を前進させ 24春闘に勝利しよう！
- ・軍備拡大許さず 暮らしと福祉を守ろう！

2024年春闘の基調

23春闘、ベアは実施されましたが、夏期・冬期休暇の削減も行われ、社員の雇用環境は悪化しました。郵政Gは利益を出しても、社員への利益還元には消極的で、内部留保拡大には積極的です。

一方で、日本郵便が一度赤字決算となれば、これまで貯めた利益には触れず、値上げ検討を公表しました。

法令順守を軽視し、利益追求ばかりが優先された以前の方針に戻ったかの様な対応です。

この様な状況の中で、働き易い職場環境を守るには、労働者は団結しなければなりません。

そこで、郵政ユニオンは4つを基調とした24春闘を展開していきます。

- ① すべての社員の大幅な賃上げ
- ② 非正規社員の均等待遇と正社員化
- ③ 大幅増員
- ④ 組織の強化・拡大

コース転換の合格者数

2023年度のコース転換合格者数は左図の様になった。

日本郵便の詳細は郵便コースが2,373名、窓口コースが1,668名である。

合格した皆様、おめでとうございます

今回の試験は、グループ

	2023年度		2022年度	
	応募者数	最終合格者数	応募者数	最終合格者数
日本郵政	3名	3名	9名	6名
日本郵便	6,711名	4,041名	6,599名	2,031名
ゆうちょ銀行	76名	48名	73名	40名
かんぽ生命	47名	22名	46名	24名
グループ合計	6,837名	4,114名	6,727名	2,101名

全体で見れば、応募者の6割が合格となった。前年度の倍近い合格者数だが、この登用水準が続くかは不透明である。

決算で日本郵便が赤字だった事などを理由として、合格者を減らす方針を示さない様注視する必要がある。

2024年問題や人員不足が懸念される最中、社員を大切にしない方針を示す様であれば、将来に希望を持たず、職場を去る社員を出す結果に繋がらないとも限らない。

一般職の現状

住居手当も適用されない一般職の給与は、アルバイト時代と変わらないという意見が出る程低い。

若年層であれば、一般職と基幹職でも給与水準の差は少ないが、勤続年数によって差が開いていく。

年功序列と言われる公務員的な給与形態が残っている会社では、基本給と勤続年数が比例する。一般職も勤続年数によって基本給は上がっているが、上昇幅が小さい。その上、基幹職の様に、昇格によるアップもない為、差が開く一方だ。

新成人・二十歳の皆様へ

心よりお祝いを申しあげます

成人となっても、飲酒や喫煙はこれまで通り二十歳以降となつていきます。

ローンやクレジットカード等の契約はできますが、注意が必要です。

成人となった事で、できる事は増えますが、同時に責任も求められます。

進学や就職など、これまでとは生活環境が異なり、苦労する事もあるとは思いますが、自分を信じて希望を持ち、明るい未来となる様、挑戦して下さい。

そして、これまで成長を見守ってくれた家族への感謝を忘れず、時には、感謝の気持ちを伝える事も大切です。

今後の予定

- 1月20日(土) 13:30~
第12回中国地方委員会
オフィスセンター
旗開き

次号は 2月 6日 予定